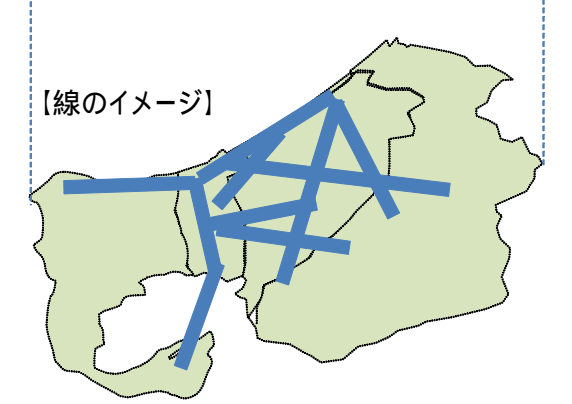
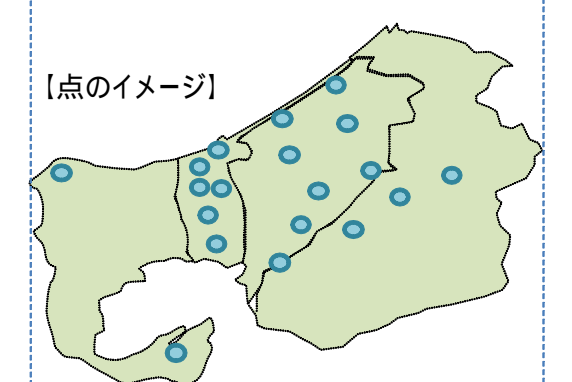
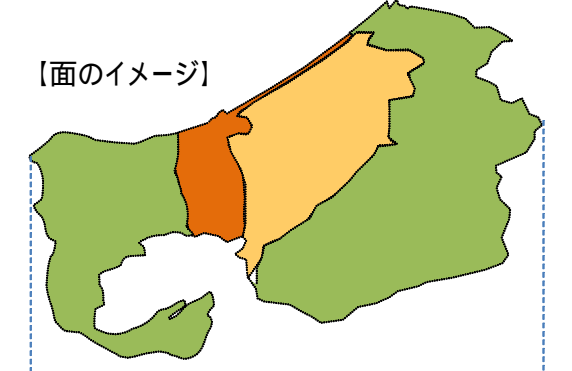
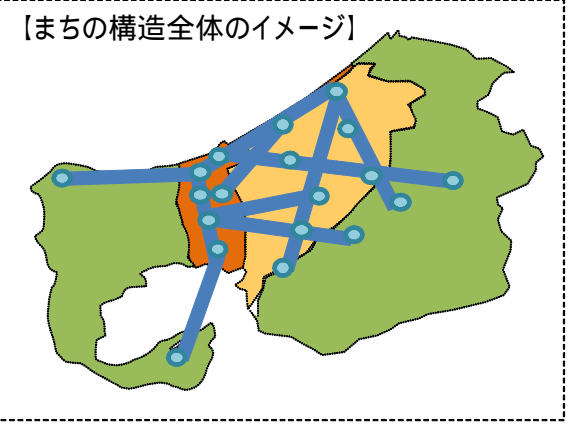


まちの構造の構成要素				
<b>面</b> めりはりのある土地利用 多様な都市機能や優良な農地、豊かな自然を有するエリアそれぞれの特性をいかし、育むめりはりのある土地利用を推進する。	地勢的特徴や土地利用の状況から3つのエリアを設定	エリア	対象地域	機能
		市街地	・上越都市計画区域(合併前上越市、頸城区、大潟区)の市街化区域 ・柿崎都市計画区域の用途地域	暮らしを支える多様な都市機能を有する。
		田園地域	市街地に隣接する東部から南部にかけての平坦で農地が広がる地域	農業生産機能と生活機能を有する。
		中山間地域	平地の外縁部から山間地に至るまとまった耕地の少ない地域	水源かん養や保水・浄水、生態系保全などの様々な公益的機能と生活機能を有する。
<b>点</b> 暮らしを支える拠点の構築 各地区の拠点の機能に応じ、暮らしを支える拠点を構築する。	各地区の拠点の機能を踏まえて4つの拠点を設定	拠点	対象場所	機能
		都市拠点	高田駅周辺、直江津駅周辺、春日山駅周辺	市の中心地として多様な都市機能が集積し、市内外からの交通アクセスを有する。
		地域拠点	浦川原区、柿崎区、大潟区、板倉区の各中心的エリア	各地区の中心的エリアとして、日常生活に必要な機能に加え、周辺の生活拠点を支える機能が集積し、地区内外からの交通アクセスを有する。
		生活拠点	各区(合併前の旧町村)の中心的エリア(地域拠点を除く。)	各地区の中心的エリアとして日常生活に必要な機能が集積し、地区内外からの交通アクセスを有する。
		ゲートウェイ	上越妙高駅周辺、直江津港周辺、上越インターチェンジ周辺	広域交通が結節し、広域的な人や物の移動の玄関口としての特性をいかした機能を有する。
<b>線</b> 人や物の移動を支える交通ネットワークの構築 拠点と市外、拠点と拠点、拠点と地区内の集落のそれぞれの間の移動が便利で安全な交通体系を構築する。	人や物の移動を支える機能を踏まえて3つの交通ネットワークを設定	交通ネットワーク	対象	機能
		広域ネットワーク	広域的な移動を支える主要国道、高速道路など。国内外の広域的な移動を支える鉄道、航路など	国内外の広域的な移動と交流・連携を支える。
		拠点間ネットワーク	拠点間を結ぶ幹線道路、鉄道、バスなど	各拠点間の移動と交流・連携を支える。
		地区内ネットワーク	日常生活を支える生活道路。拠点と地区内の集落を結ぶバスなど	拠点と地区内の集落の間の移動と交流・連携を支える。



# まちの構造：面

# めりはりのある土地利用

エリア	現状など	土地利用の考え方
全エリア (共通)	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林、河川、海岸などの多様な自然環境を有する。</li> <li>住宅が平野部から中山間地域まで広範囲に立地する。</li> <li>土砂災害、洪水、大雪等の災害リスクが存在する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>土地は、人々の暮らしや産業活動などの基盤となる限られた資源であるため、生活環境の向上や自然環境・景観の保全、防災などの視点から、すこやかなまちの形成に向け、市民や事業者などとともに計画的な土地利用を推進する。</li> <li>これまでに整備された道路や公園、公共施設、建築物などの既存ストックを有効活用しながら、社会経済情勢の変化に対応し、市の持続的な発展を可能とするまちづくりや土地利用を推進する。</li> </ul>
市街地	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街化区域と人口集中地区の面積が増加傾向である。</li> <li>中心市街地を中心に空洞化が進行しており、魅力と賑わいの向上が課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来の人口減少や社会経済情勢の変化などを踏まえ、市街地の適正な規模を維持する。</li> <li>社会経済情勢を踏まえた住宅・商業・工業の土地利用の変化や、住民・事業者のニーズを見極めながら柔軟な土地利用を進めるとともに、市街地内で十分に活用されていない土地の解消に努める。</li> <li>【住宅系】 <ul style="list-style-type: none"> <li>住宅系の用地内に宅地の供給を誘導しながら、市民が安心して快適に生活できる住環境を形成するための基盤整備に努める。</li> </ul> </li> <li>【商業系】 <ul style="list-style-type: none"> <li>既存の商業集積地を維持し、魅力を高めるため、地域特性に応じた商業機能の立地を誘導する。</li> </ul> </li> <li>【工業系】 <ul style="list-style-type: none"> <li>直江津港や高速道路などの交通結節点としての立地特性をいかし、企業の立地を誘導する。</li> </ul> </li> </ul>
田園地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊かな田園環境が広がる。</li> <li>農業の担い手・後継者の確保や生産性の向上が課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>優良な農地や自然環境、農村部の景観を保全する。</li> <li>集落地は、農村らしいゆとりある住環境を形成する。</li> <li>優良な農地は、地域の実情に応じて大規模ほ場等の生産基盤の整備を進めるとともに、農地の集積を進め、農業の生産性を高める土地利用を推進する。</li> </ul>
中山間地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊かな自然環境が広がる。</li> <li>今後、集落機能や地域農業・林業の衰退により里山が荒廃し、自然環境の悪化が懸念される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然環境や景観を保全するとともに、水源かん養などの公益的機能を維持するため、森林の適切な管理と農地の保全を推進するとともに、人や地域の支え合いなどにより中山間地域の暮らしを支援する。</li> <li>集落地は、自然環境と調和した里山らしい住環境を形成する。</li> </ul>

【面（エリア）のイメージ】おおむねのエリア区分を示したもの



# まちの構造：点

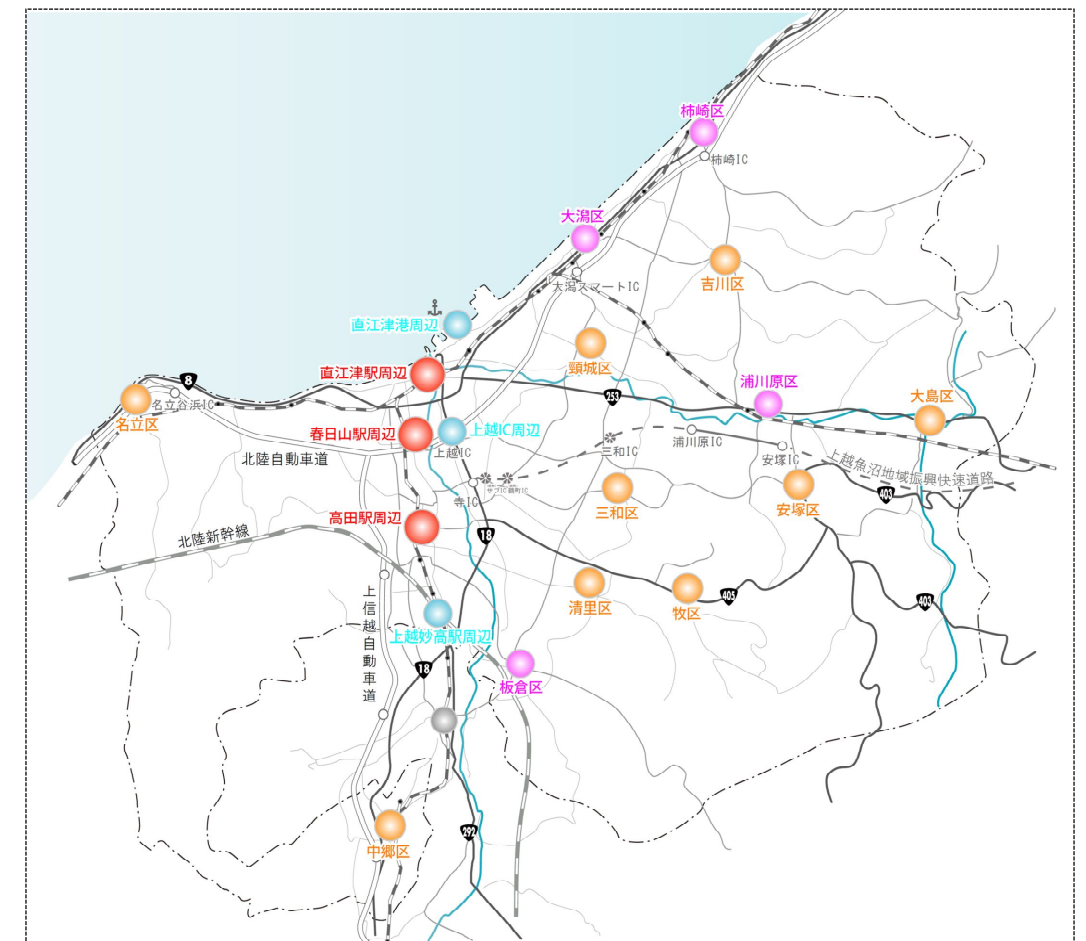
# 暮らしを支える拠点の構築

拠点	特徴など	拠点の機能整備の考え方
全拠点（共通）		・暮らしを支える都市機能が集積したまとまりのある拠点の形成を図る。
都市拠点	（共通）	・都市的ライフスタイルを可能とする居住環境と当市の経済発展の原動力となる都市機能の集積を図るとともに、市内外からの交通アクセス性を高め、多様な人々や団体が集まり、交流や連携が生まれるにぎわいのある拠点を目指す。
	高田駅周辺	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雁木や寺町などの歴史的なまちなみを有し、多様な都市機能が集積</li> <li>・既に集積している都市機能やまちの歴史的価値をさらに高める観点から必要な都市機能の集積や歴史的まちなみの保存・活用を促進する。</li> <li>・歴史文化などの地域資源を活用したまちなかの回遊性の向上、空き店舗等の既存ストックの活用などにより賑わいの向上を図る。</li> </ul>
	直江津駅周辺	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の都市機能に加え、商業、交流機能などの立地を促進する。</li> <li>・市民生活の利便性を高め、鉄道沿線地域の拠点となるまちを目指す。</li> <li>・歴史を感じさせるまちなみや日本海を一望できる景観などの個性的な資源を活用するとともに、近隣にある直江津港の存在を踏まえ、新水族博物館の建設など市内外からの交流促進に寄与する機能の充実を図る。</li> </ul>
	春日山駅周辺	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所や文化会館などの公共施設が集積</li> <li>・良好な住宅地が形成</li> <li>・行政、文化・スポーツなどの都市機能の集積や、上杉謙信ゆかりの春日山への玄関口であることをいかし、文化・交流の拠点となるまちを目指す。</li> </ul>
地域拠点		・日常生活に必要な機能に加え、周辺の生活拠点を支える機能の維持・集積を図るとともに、地区内の集落や地区外からの交通アクセスを確保し、人々や団体が集まり、交流や連携が生まれる拠点を目指す。
生活拠点		・日常生活に必要な機能の維持・集積を図るとともに、地区内の集落や地区外からの交通アクセスを確保し、人々や団体が集まり、交流や連携が生まれる拠点を目指す。
ゲートウェイ	（共通）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域交通が結節し、市内から市外へ、市外から市内への広域的な人や物の移動の玄関口としての特性をいかした機能の集積を促進する。</li> <li>・上越魚沼地域振興快速道路の整備促進により関東・魚沼方面からの新たな玄関口となることが予定される寺インターチェンジ周辺については、今後、道路整備の進捗状況を考慮してゲートウェイとしての位置付けを視野に、それにふさわしい機能を整備・誘導することを検討する。</li> </ul>
	上越妙高駅周辺	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北陸新幹線開業後の市の新たな玄関口</li> <li>・観光やビジネスを目的とした来訪者をもてなすにふさわしい環境整備や都市基盤の充実を図りながら、市内外への円滑な移動を実現する交通結節点としての利便性や広域的な拠点性を高める機能の集積を促進する。</li> </ul>
	直江津港周辺	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外への航路を有し、LNG基地や火力発電所が立地</li> <li>・メタンハイドレートの生産の支援拠点化が期待</li> <li>・エネルギー港湾としての特長をいかしつつ、物流機能やエネルギー関連産業、製造業等の機能の集積を促進する。</li> </ul>
	上越インターチェンジ周辺	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高速道路と国道が接続</li> <li>・大規模な商業施設や流通業務系の企業が集積</li> <li>・広域交通ネットワークを活用できる充実した環境をいかし、既存の商業・物流機能の充実を促進する。</li> </ul>

都市機能	
商業・業務・教育・文化・交流・行政施設など、暮らしを支えるサービスを提供する機能	
都市拠点が有する機能	（例）外出着などの買回品を購入する店、大型商業施設または商業施設の集積、総合病院または病院の集積、図書館、文化施設、ビジネスホテル、コンベンション施設
地域拠点が有する機能	（例）スーパー・ホームセンター、金融機関、福祉施設、体育施設
生活拠点が有する機能	日常生活に必要な機能 （例）生鮮食料品などの最寄品を購入する店、行政窓口、郵便局、農協、コミュニティ施設、保育所、小中学校、医療機関、公共交通

機能の例示であり、拠点の立地や周辺地域の人口、周辺の拠点が有する機能などの状況により異なる。

【点（拠点）のイメージ】拠点の中心部のおおむねの位置を示したもの



# まちの構造：線

# 人や物の移動を支える交通ネットワークの構築

交通ネットワーク	道路・公共交通の整備の考え方
全ネットワーク（共通）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内外の人や物の移動を支える総合的な交通ネットワークの確保・形成を目指す。</li> <li>・道路の整備と公共交通の利用促進を図るとともに、広域ネットワークの整備効果を最大限に発揮させることにより、市民生活の利便性の向上と地域産業の活性化を図る。</li> <li>・地域の実情に即し、効率的で利便性が高く、環境負荷の低い公共交通体系を構築する。</li> <li>・降雪期にも安全な移動を確保できる交通環境を形成する。</li> </ul>
広域ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高速道路、地域高規格道路、国道などの整備促進と、航路、鉄道などの公共交通の安定的な運行の確保と利便性の向上を図る。</li> </ul>
拠点間ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点間を円滑に移動できる国道、県道などを確保する。</li> <li>・拠点間を移動する鉄道、バスなどの公共交通の安定的な運行の確保と利便性の向上を図る。</li> </ul>
地区内ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な生活道路とバスなどの公共交通の確保を図る。</li> </ul>

## 【線（ネットワーク）のイメージ】

